

## 議 事 要 旨 (公開用)

- 件 名 月形町総合振興計画等審議会
- 日 時 令和5年9月13日(水) 午後5時00分～5時52分
- 場 所 月形町役場 大会議室
- 出席者 委員：13名  
町：上坂町長、ほか4名

=====

※ 内容は一部要約しています。

### 1 開 会

【進行：企画振興課長】

### 2 委嘱状交付

### 3 委員紹介

【説明：企画振興課長】

委員、町職員の順に紹介

### 4 町長挨拶

【挨拶：上坂町長】

委員の皆様には審議していただくのは最上位に位置づけられる振興計画で、町の全ての計画の基本になるものです。

それぞれのお立場で、これまでのご経験を生かし、ご検討ご意見をいただき、新しいまちづくりをしていきたい。

### 5 議 事

#### (1) 月形町総合振興計画等審議会の概要について

【説明：企画振興課長】

月形町総合振興計画等審議会条例の条文説明

任期は2年間、4回の会議を開く予定

#### (2) 会長・副会長の選任について

【説明：企画振興課長】

- ・ 月形町総合振興計画等審議会条例第5条に基づき、会長、副会長を選出

【進行：上坂町長】

○（上坂町長）選出方法は事務局から指名させていただいてよろしいか。

【説明：企画振興課長】

会長：月形町行政区連絡会議議長 山田 真人 様

副会長：月形町社会福祉協議会 事務局長 尾崎 美世子 様

○（上坂町長）2名の方をお願いすることとしてよろしいか。

（全員）※拍手あり

（山田会長）これから2年間、皆様と計画を練っていくよろしく申し上げます。

### （3） 諮 問

・町長より諮問書を読み上げ、山田会長に手渡しする。

※諮問後、町長退席

### （4） 第5次総合振興計画策定基本方針について

【説明：企画振興課長】

・社会情勢の変化に対応するために、第5次総合振興計画と第3期創生総合戦略を一体的に策定する。総合振興計画は最上位の計画と位置づけられ、町のすべての計画の基本となる。

・基本構想 本町が目指す姿（将来像）や基本的な目標、必要な施策の大綱。基本構想の計画期間は10年間（令和7年度から令和16年度）

・基本計画 基本構想に掲げる将来像を達成するための重要施策や具体的な成果指標を示し、社会情勢の変化に対応できるよう5年間とし、前期と後期に分けた計画とする。

・実施計画 基本計画に示された施策に基づいて、事業内容や実施期間を明らかにした行財政運営上の指針とするもので計画期間は3年間とし、毎年度見直しを行う。

・計画策定の考え方

・現計画の点検と評価

・町民参加の推進

・社会・経済情勢の推進

・達成度が確認できる計画

・議会の議決

・計画の策定は、庁内に検討組織を設置し現在の振興計画の達成状況や課題整理し、計画検討段階から広く町民の意見を伺い計画を策定していく。

・庁内体制はすでに会議を開催し、町議会へ基本計画と策定スケジュールの説明を行って

いる。

- ・ 庁内体制 月形町総合振興計画等策定委員会 組織：副町長・教育長と管理職  
月形町総合振興計画等プロジェクトチーム 組織：係長・主査職
- ・ 庁外体制 月形町総合振興計画等審議会  
町民アンケート（中高生・18歳以上）  
各種団体の代表者インタビュー  
町民からの意見募集（パブリックコメント）

#### （５）第５次総合振興計画のスケジュール

##### 【説明：企画振興課長】

- ・ 今年度は調査、資料収集等が主な業務。現計画の点検評価を行い町民へのアンケート調査、回収アンケートの分析を行う。また、基本計画策定に係る検討を役場内で行う予定。
- ・ 令和6年度のスケジュールは基本構想、基本計画の策定業務が中心となり、令和6年10月頃までには計画を策定し、10月に審議会から町長への答申を行いたいと考えている。
- ・ 町長への答申後、令和6年12月パブリックコメントを実施し令和7年3月町議会に提案を考えている。

#### （６）まちづくりアンケート調査の実施について

##### 【説明：企画振興課長補佐】

- ・ 町民アンケート調査を実施（成人20代～80代980名・高校卒業後の18・19歳18名・中高生84名）の集計と分析を行う。
- ・ 成人以外の分については回収率を高めるために両面1枚の用紙を使用するなどの工夫をしている。刑務所受刑者・施設入所者は除外
- ・ アンケートは満足度、重要度の評価のほか、まちづくりに関する意見や提案を収集する。

##### 【質疑・意見など】

- （川森委員）成人向けアンケート問3で町外へ出たいと回答後は、問4に進み理由を確認しているが、住み続けたい人の理由は設問が見当たらないがどのように判断するのか。
- （企画振興課長補佐）当初素案では住み続けたいという項目もあったが、総合振興計画を策定するにあたってはプラスのことではなく、月形町からの転出を阻止するという着眼点を置き、アンケートの回収率を上げたいということで項目を減らした。
- （川森委員）マイナスを減らすという考えもちろんあるが、今あるプラスの部分の伸

ばしていくのが強みに変わるのではないかと思った。

●（企画振興課長補佐）別のページに満足度の項目があり、そこで指標を計れるのではないかとすることで削除している。

○（川森委員）自由記述もあるので意見を拾えると思う。また、団体との意見交換や住民の対話で意見を聞くこともされるのか。

●（企画振興課長補佐）農協・商工会・社会福祉団体の意見交換会を予定している。それでも意見を拾えると考えている。

○（宮本委員）最終的な回収率はどのくらい予定しているか

●（企画振興課長補佐）前は40弱の回答率。前回は回答しやすい項目設定にした。IP告知端末機で回答を促す告知を予定している。

○（宮本委員）対象者について小学生を抜いたのは理由があるか。大学で勤めているが小学生に授業する機会があり、小学生の発想は素晴らしいものがある。大人が思いつかないようなことを言ってくれる。現実的に考えると合わないこともあるがそこからのヒントは大きいと思う。全員対象にしたい。

●（企画振興課長補佐）今回、中高生にのみにしたのは成人以外にアンケートをとっている全国の市町村を参考にした。また当初は中高生のアンケートも、もっと複雑で小学生には回答しづらいものだったところからスタートしていたため。

○（宮本委員）小学校の校長先生もいらっしゃるので授業か何かでうまく取り入れていただけよう検討いただきたい。

中高生の問5の「10年後について」を聞くことはすごく良いと思うが、何が必要かを問うのは難しい。質問を変えて欲しいということではないが、いつも学生達には何が不安かを聞いている。必要なものはあいまいになるが不安なことは比較的しっかり考えてくれる。今後の課題としてぜひ検討していただきたい。

## （7）その他

【説明：企画振興課長】

・次回審議会は令和6年2月頃を予定している。

## 7 閉 会

（終了：午後5時52分）